

【第11回全国大会 口頭発表】

テーマ	子どもの学びと行動の特性をふまえた「理解」「習得」につなげる 国語科の授業づくり 「大造じいさんとがん」(5年)を例に ～通級指導教室の現場からの提案
発表者 (所属)	住江 真智子 (大阪市立塩草立葉小学校)

【発表概要】

通級指導教室では、子供の自立を目指し、障害による困難を改善・克服するため、一人一人の状況に応じた指導を行います。主に、

困難の改善・克服

特性に合わせた指導

学び方を自分で工夫する力

を意識して指導しています。

<具体的な指導事例>

○国語科に関連して

- ・文字や文章を見て認識することが苦手 ・必要な語いの不足
- ・書くことへの抵抗感が強い ・内容を覚えて自分で伝えることが苦手
- ・文章の理解があいまい ・答えがあいまいなものが苦手 など

○行動の特性にかかわって

- ・落ち着いて45分の授業を受けることが苦手 など

一斉指導の場面で、積極的に授業に参加し、
学習内容を理解・習得できるためには・・・



本発表では、

- ① 本校の通級指導教室での指導の紹介
- ② 「大造じいさんとがん」を例に、通常学級の一斉授業での工夫の提案を行います。